

東京理科大学新聞

【発行所】

東京理科大学新聞会

＜ 神楽坂キャンパス ＞  
〒162-8601

東京都新宿区神楽坂 1-3

＜ 九段キャンパス ＞

〒102-0073

東京都千代田区

九段北 1-14-6

TEL&FAX 03(5213)0368

mail@tuspress.jp

http://tuspress.jp

今月号の紙面から

【秋特集号】

4 体育祭／コラム

2 体育局所属団体の大会結果／ルノアール展  
3 男鹿和雄展／秋の味覚を求めて／合宿幹事の皆様へ  
書評・映画評

拝啓

銀杏の葉も色づき始めた今日この頃

いかがお過ごしでしょうか

秋特集号



秋にはさまざまな魅力がある。今号はその魅力にスポットを当ててみた。

まずは「運動の秋」について。夏に行われた大会での部活の成績や、10月8日に野田で行われた体育祭の模様をお伝えする。

次に「芸術の秋」では、好評を博した「ジブリの絵職人 男鹿和雄展」の様子などを取材した。

続いては「読書の秋」だ。新聞会が今秋にお薦めする渾身の一作「カラフル」の書評を載せた。また、映画評やちよつぱり心にしみるコラムもぜひ読んでほしい。

そしてやはり外せないのは「食欲の秋」。この秋にしか口に出来ない神楽坂周

再構築が始まった？

今月、ついに神楽坂校舎の9号館別館（以下別館）7号館別館、6号館裏の民家の取り壊しが始まった。このことについて管財課の方に話を伺った。

別館、7号館別館跡地は更地にして外堀通り側に壁を作り、そこに別館横にあつた憩いの場を拡張する。学生が息抜きできる場所を増やしたいという学校側の意向だ。

これまで別館にあつた学生談話室や自習室などの設備は9号館の2階に移設された。この取り壊し工事は

屋台出店 決まる

今年度の理大祭（11月22日～25日）で、2年ぶりに神楽坂校舎間の路上で屋台の出店が決まった。この決定は3、9号館の取り壊し工事が理大祭までに始まらないことが確定したためである。



▲一昨年の屋台の様子

辺にある季節の商品を紹介しよう。オススメ商品などの情報を掲載したのでぜひ足を運んで欲しい。本紙

（山本）

取り壊しの目途は立っていない。ようやく進展を見せ始めた本学の再構築事業が、今後も順調に進行することを期待したい。

（小林）

理大祭が始まるまでには終わる予定だ。今後、他の校舎について



▲崩れゆく9号館別館



久保田・八海山・越の誉・麒麟山…全て日本酒の銘柄だ。段々と日本酒が美味しい季節になってきた。◆近年、特に20代の人々の日本酒離れが深刻な問題となっている。新潟県民の私にとつては到底信じられない。更に言わせてもらえば、あれ程旨いものなのになんて勿体ないことをしているのかとさえ思う◆見事な色合い、芳醇な香りとさわやかな口当たり。最高の米と熟練した職人の技術…どれを取っても嫌になる理由がない◆若い世代、特に大学生が飲み会で一気飲みをする光景をよく目にする。学校側からも極めて危険な行為として厳しく注意されているにも関わらず、現実は一気飲みの結果で急性アルコール中毒となり救急車で運ばれる事案が多い。旨い酒を全く味わうことなく何が面白くて一気飲みするのか。全く理解できない◆皆で盛り上がり、騒ぎながら飲むのが楽しい。このような反論もあるが、本来酒は様々な側面を楽しむものだ。酒で危険な行動をとるのは「酒に強い」「酒が好き」とかの次元ではない。単にエタノールを摂取し、騒ぎを起こしたいだけではないか◆気心の知れた仲間とじっくり味わいながら楽しむ酒ほど旨いものはない。「お酒はほどほどに」よく言われることだがこの言葉に尽きるだろう◆一ヶ月後には理大祭だ。残念なことだが例年飲酒事故が発生している。今年は一気飲みなど馬鹿なことはせず、じっくり味わいながら酒を楽しむものだ。（吉田）

